

## A年 復活節第4主日

主日のテーマ 「わたしは羊の門である」

### 特禱

永遠の契約の血によって良い羊飼、主イエス・キリストを死人のうちからよみがえらせられた平和の神よ、どうか、わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前に喜ばれるすべての良い業を行わせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

使徒言行録 6:1-9,7:2a,51-60 または ネヘミヤ記 9:6-15

詩編 23

ペトロの手紙 I 2:19-25 または 使徒言行録 6:1-9,7:2a,51-60

### 福音書 ヨハネによる福音書 10:1-10

<sup>1</sup>「はっきり言うておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。<sup>2</sup>門から入る者が羊飼である。<sup>3</sup>門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。<sup>4</sup>自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているの、ついて行く。<sup>5</sup>しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。」<sup>6</sup>イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

<sup>7</sup>イエスはまた言われた。「はっきり言うておく。わたしは羊の門である。<sup>8</sup>わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。<sup>9</sup>わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。<sup>10</sup>盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。

※福音書は以下より引用しました。

聖書 新共同訳：(c)共同訳聖書実行委員会

Executive Committee of The Common Bible Translation

(c)日本聖書協会

Japan Bible Society, Tokyo 1987,1988